

令和 5 年度地域福祉コーディネーター事業 主な具体的取組

令和 5 年 4 月 1 日
調布市社会福祉協議会
地域福祉推進課 地域支援係

I 相談支援

1 個別支援対応

地域へのアウトリーチを通して、潜在的な支援ニーズの早期把握に加えて、複雑化・複合化した相談に対して、多機関と連携しながら包括的に受け止め、課題解決に向けた支援を行う。また個別支援で把握した多様な支援ニーズをもとに、重層的支援体制整備事業における「参加支援事業」や「地域づくり事業」へつなげる。

2 重層的支援体制整備事業に関わる検討

相談支援機関や調布市社会福祉協議会各課・係へ事業の理解啓発を行うとともに、「多機関協働事業」における今後の取組についてを検討する。また「包括的相談支援事業」「参加支援事業」「地域づくり事業」「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」に対する地域福祉コーディネーターとしての効果的な役割を検討する。

3 福祉圏域別専門職等ネットワーク会議

専門職同士の顔の見える関係構築及び地域情報の共有、相談支援に対する共通認識を通して、連携のしやすさ向上や複雑化・複合化した支援ニーズに対する連携体制の強化を図る。

4 相談支援機関との情報交換及び連携会議

相談支援機関と地域福祉コーディネーターとの会議の機会を設け、機関同士の役割の把握や機関が抱える相談内容及び連携対応における課題等の共有を行い、より強固な連携体制を目指す。また重層的支援体制整備事業への理解を高め、建設的な検討へつなげる。

II 地域支援

1 地域住民との協働（地域支援）

地域住民等による地域活動や団体の立ち上げ支援や運営支援を通して、

地域生活課題の把握や担い手づくりとともに地域福祉コーディネーターの啓発を行う。また相談の受け皿機能となるよう活動者へ働きかけを行う。

2 第6次調布市地域福祉活動計画策定

8つの福祉圏域での策定会議と全域策定委員会を通して、地域住民等との地域を考えるプロセスを大切にし、推進へつながる足掛かりとする。また福祉3計画（行政計画）との連動性を意識しながら、進める。

3 ひきこもりプロジェクト

ひきこもりや生きづらさを抱えた方への支援として、当事者やその家族とともに進めてきた家族会や当事者会、女子会等との関わりを継続し、当事者等の声を拾いながら、市域を超えた他市との連携を今年度も行う。

4 地域福祉ファシリテーター養成講座

ルーテル学院大学や他市との連携により、地域福祉推進の担い手づくりを行う。また調布における地域福祉ファシリテーターとしての役割や目的の検討を行う。

5 地域づくり事業

地域福祉ファシリテーター養成講座の調布1・2期生とともに、調布市の地域生活課題や社会資源の把握を行う。また新たな担い手への働きかけ及び啓発を目的とした講座等を、修了生による企画立案・運営で実施する。

6 企業との連携及び企業への働きかけ

令和4年度2回実施の「無印良品の整理収納アドバイザーによる親子向けワークショップ」を、回数を増やして実施する。子どもや子育て家庭向けの自己肯定感の向上及び子育て負担の軽減につながる取組を、企業の強みを生かした地域貢献を活用しながら、地域住民も巻き込んで実施する。